

How to Write a Report

2010年度プログラミング言語処理系論

-
- レポート提出により評価をおこなう
 - 提出先
 - <http://u-tokyo.manaba.jp/ct/>
 - IDとパスワードを発行するので、レポート提出希望者は以下にメールすること
SCHUKO@ SA TO LAB .ITC. U-TOKYO.A C.JP
 - PDFまたはDOCファイルを作れる環境にない場合は個別に相談すること
 - 締め切り
 - 2010年8月1日
 - 9月修了を予定している人は成績報告を早めるのでそのむねコメントしておくこと。
 - 評価
 - レポートはコメントをつけて返却する。返却場所は提出場所と同じ。
-

レポートの書き方

表紙をつけること

- 表紙に書くべきことはレポート名(2010年度プログラミング処理系論)、氏名、学籍番号、所属専攻、提出日付のみである
 - 学籍番号を書かない場合、成績がつかない恐れがある。十分に注意すること。
 - 問題の解答は2枚目以降に書くこと
 - 任意に2問を選んで解答すること。問題文(の要約でよい)を書いてから解答すること
 - 一枚のシートに2つ以上の問題の解答を書いてはいけない
-

例年みられるあまりよくない例の反省

- プログラム、アルゴリズムの説明を求められている場合、各行の逐次的な説明ではなく、各処理単位がどのような処理をおこなって全体として正しく動作するのかの説明を求めている
 - 「プログラムを書け」という問題は、プログラムだけではなく、なぜそれが正しく動作するのかの説明を併せて求めている
-

-
- 大部な規格を解説する問題の場合、以下を議論することを求めている(要するに論文と同じ)
 - 議論されるべき点は何か
 - その論点に対してその規格は何をどのように定めているか
 - (もしできればでよいが)コンピュータサイエンスの中でこの規格は(たとえば他と比較することで)どのような位置を占めるのか
-